

第1期 小郡寺子屋「志学舎」報告書【卒塾式】

開催日 2023年4月22日（土）

● 時 間 9:00～14:00

● 場 所 小郡市生涯学習センター（小郡市大板井）

● 参加者

■第1期生14名（欠席：2名）

■保護者及び家族

■支援者の方 5団体8名

小郡ロータリークラブ 野田 弘喜 様／（一社）みい青年会議所 津留崎 大樹 様

■実行委員会（兼支援者の方々）

小郡ロータリークラブ 堤 正博 様（実行委員長）／（一社）みい青年会議所 三宅 淳司 様（副実行委員長）
／NPO 法人元気っ子未来塾 大場 美紀 様／社会医療法人天神会 白木 肇 様

■その他

福岡県青少年育成課 和田 美香 様／緒方 泉水 様（第2期実行委員）

■主催者代表 小郡市長 加地 良光

■木村 貴志 塾長／森 就子（事務局）／井上 和樹（事務局）／西山 茂代（事務局）／笹月 将（事務局）

● 内 容 小郡寺子屋「志学舎」第1期生卒塾式

9:00～9:50 卒塾式に向けての練習

10:00～12:30 小郡寺子屋「志学舎」第1期生卒塾式

12:40～14:00 卒塾生・保護者との懇親会

■ 卒塾式に向けての練習

○塾長から卒塾式に向けてスピーチの最終確認、流れの確認

- ・卒塾スピーチのまとめ・・・情報カードにまとめ、最終的には何も見ずにスピーチできるように。

○全体リハーサル

- ・卒塾式の流れを確認

■ 卒塾式

○木村塾長式辞

卒塾生の皆さんへ、さらなる個の確立をお願いしたい。ほんの20講座しかなく、もっとやりたかったなどの思いもあります。また、①自分で考え、意志を持ち、行動する②プリンシプルを持つ③志のあるリーダーとして社会全体に貢献するという3つのことを身につけてもらいたいし、3つの力（体力、語学力・IT力、魅力）をしっかり身につけていただきたい。志を持つこととは、先人たちががんばってくださった土台の上に私たちの豊かさがあることを知ること。暗記ではなく、いろんな人たちの想いがあって今があることを正しく見ていなければ感謝の気持ちは生まれない。感謝心がなければ次の世代に同じようにやろうという気持ちも生まれない。つまり自分の使命や責任感は生まれてこないということ。これからがスタートです。もっと頑張ってほしいなと思います。



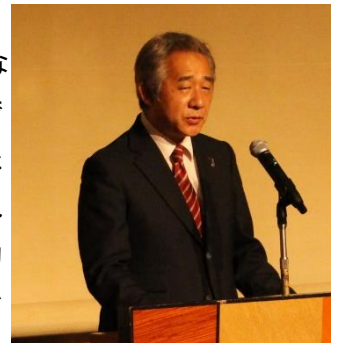
○主催者代表挨拶（小郡市長 加地 良光）

今皆さんの表情を見ると、力にあふれ輝いているように感じています。1期生の皆さん、ご卒業誠にありがとうございます。皆さんは志学舎の門をたたくことによって、木村先生に出会いました。すばらしい教えを皆さん受けたと思います。また、経営者の皆さん、各企業の皆さん、さらに合宿では萩の温かい皆さんのお迎えを受けて、また歴史の中では吉田松陰先生をはじめとして多くの偉人たちに出会ってきたと思います。一生の学び、いいものをしっかり学んでくれたんだと文集を読んで感じました。この企画を頑張って立ち上げられてよかったと、私自身も充実感をいっぱい感じています。皆さんにはこれから輝かしい人生が待っています。さらにしっかりと志を立てて、今回学んだことを胸に刻んで、頑張って堂々と生き抜いて下さい。そして、自分自身のため、家族のため、地域のため、日本のため、世界のために羽ばたいていって欲しいと心から願っています。そして最後の最後に、というプログラムになるかわからない中、お子さまをお預け頂いた保護者の皆様の勇気に感謝を申し上げたいと思っています。これから皆さんと一緒に地域の人材を大事に見守っていきたいと思っています。1期生の皆さん、本当に誇らしいです。これからすばらしい人生を歩んでください。ご卒業おめでとうございます。



○実行委員会委員長挨拶（堤 正博）

1期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この10か月、皆さんは大変貴重な体験をしたと思います。これが皆さんの人生におけるターニングポイントになるのであればいいかなと思います。僕も若かったら参加したかったくらいです。参加してたら人生が変わっていたと思うくらいの経験をされたのだと思います。やはり、日本人はアピール下手というのがあります。皆さんのスピーチなどのプレゼンテーション力が今後生きて来ると思います。今からの人生、このいい経験をぜひ生かしていただきたいと思っています。ご卒業おめでとうございます。



【卒業生スピーチ】

○ A さん

僕が志学舎にはいって感じたことは3つあります。まず1つ目は体験することの大切さについてです。寺子屋に入る前は、できる事やしたい事しかやっていなくて、できない事は後回しにしたりほったらかしにしていました。でも寺子屋に入ってレポートやスピーチ、魚釣り、30kmも歩くなどを体験し、魚釣りは楽しかったし、30kmも最初は無理だと思ったけど意外と歩けたし、レポートやスピーチも最初はできなかったけど、ずっとやっていくうちにだいたいできるようになりました。だから、できないからといってやらないのではなくて、どんどんチャレンジしてできることを増やしていけるようにこれからもしていきたいと思っています。

2つ目は、仲間の大切さについてです。仲間と一緒に講座を聞いたりして、仲間がいなかったら楽しくなかっただろうし、すぐに飽きていたと思います。仲間がいたから意見交換もできたし、いなかったら今より成長できていないだろうと思いました。他にも、みんなで歩いたり、話したり、釣ったりしていい思い出作りがたくさんできたと思います。これからは、みんなと会う機会は少ないと思うけど、会ったら声かけてほしいし、声かけようと思いました。

3つ目は感謝についてです。僕が寺子屋に入って感謝したい人がたくさんできました。もちろん実行委員の方々、経営者の方々、支援者の方々や加地市長、塾長はもちろん、小郡のバスの運転手さんだったり、萩の運転手さん、萩焼や釣りを教えてくださった方、本当にたくさんの人に支えられているなと感じました。また、経営者の方々は、講話が終わってコーヒーや明太子、お菓子をくださり、本当にいろいろなものをいただいて自分も利益とかを求めてじゃなくて、人間として相手のことを思いやれるような人になっていきたいと思いました。

このように僕は寺子屋に入ってたくさん成長することができたし、改めて支えてくださった方々、本当にありがとうございました。

○ B さん

志学舎に入塾して1年間、多くのことを学ばせていただきました。その中でも特に3つのことについて話します。まず1つ目は、志を持っている人は計画的に進めているということです。麻生さんが講話の中で、1週間と1か月の中で、大きく家業のことと地域のこと、国のことについて目標を立てているとおっしゃっていました。自分のことと国のため、人のために目標を立てていてカッコいいなと思いました。私は今まで計画を立ててこなかったり、立ててもその通りにやってこなかったりしていました。そして、うまくいかなかったことが多いと思います。なので、これからは計画を立ててやっていこうと思いました。

また、三宅社長が「未来の反射からできる」とおっしゃっていました。大きく志を立てて、その目標に向かい、今できることをやるのはいい事だと思うので、自分もできることがあるときは、やっていこうと思いました。

次に2つ目は、昔の人の考えはすごいということです。先ほどの論語抄の中では、現在多くの人ができていないことが書いてあったりして、昔の人が考えていたことはすごいなと思ったので、自分でも行っていこうと思いました。

最後に感謝についてです。去年までは学年や学校が違って全然話したことがない人がいた中で、合宿などを通して仲良くなれたり、支えあったりして、仲良くなることができたみんなに感謝したいです。ありがとうございます。そして、この志学舎を支えてくださった方々、実行委員会の方々、塾長、スタッフの皆さんに感謝します。ありがとうございました。

【支援者・実行委員の方から感想】

○津留崎 大樹 様

私も、みい青年会議所としまして、志学舎で学んでいることと同様に、同じ志をもって、自己啓発を行い、それを発揮する地域という場をいただいて奉仕する活動を行っています。そのような中、同じ志を持つ皆さんのスピーチを聞かせていただいて、大変短い、大好きな映画を1本見るような短い時間として感じることができました。私自身も同じような問題意識をもった学びの上でスピーチを聞かせていただいて、自分自身の課題のように感じさせていただきました。この地域に志を持った卒業生が過ごしているというのは、とても心強いものだと感じています。そう言った志を忘れないよう、自分自身の課題に真摯に向き合って成長していただければと思います。



○大場 美紀 様

保護者の皆様、塾生を1年間支えていただきまして、心から感謝申し上げます。卒業生の皆さん、ほんとにすごいですね。カッコよかったです。第2回スピーチコンテストの時よりも格段に良くなってました。最初涙が出ました。それぐらい皆さんが、堂々と正面を向いて、しかも声も大きく聞きやすかった。なによりも自分の言葉で、自分の気持ちで全ての人が話してくれた。これが一番カッコよく素敵だなと思いました。私も皆さんのそばで実行委員ができたことを本当にうれしく思います。これからも忘れることなく実行し続けて、素敵なリーダーになってください。本当におめでとうございます。



○三宅 淳司 様

皆さん、入塾式の時はいやいやスピーチをしていたのではないかなと思います。1年間を通して、感謝の気持ち、絆というものを学ばれたということを今回のスピーチを聞いて感じました。1年間を通じて皆さん

がやってきたこと、終えたことを誇りに思っていたきたいなと思います。私もいろいろな立場で皆さんと関わりましたが、皆さんから学んだことを1つ話させていただきます。それは感性というものを学ばせていただきました。感性を磨くことが大事なんだと感じました。私も日々、日常の中でいろんなことを学んでいこうとする中で感性を磨かないといけないと改めて感じました。1年間の中でいろんな方に感謝をしながら進めてきたと思いますが、今日感謝、感謝という雨あられが本日皆さんから聞いたこと、うれしく思いますし、心豊かな皆様がこれからも私たちとともに成長できることを楽しみにしております。1年間お疲れ様でした。



○和田 美香 様

まず、原稿を見ずにスピーチしていることに大変驚きました。緊張はしていたかと思いますが、きちんと前を向いて話ができていることに感動しています。皆さん1年間の中での変化を語っていただきましたが、語られてない中でも小さな気付きから大きな気付きがたくさんあったかと思っています。1番はチャレンジすることに対してすごいなと思っています。これからいろいろなチャレンジをしながらいろんな学びを深めていっていただければと思います。



○緒方 泉水 様

この1年間、企業訪問や経営者講話などたくさん経験して学んだこと、そして入塾式から大きく意識が変わったのではないかなと思います。小中高の12年間でこの高い意識を持つことは重要ですが、大学生・社会人になってからもこの意識を持ち続けることは大切な事だと思うので、この1年間で学んだことを忘れないでいてほしいなと思いました。皆さんお疲れ様でした。



<支援者、実行委員の皆さんと卒塾生>



■卒塾生・保護者との懇親会

○卒塾式後、卒塾生同士・卒塾生の保護者同士で簡単な懇親会を開催しました。卒塾後も、第1期生同士のつながりが続くことを感じられる懇親会となりました。